

Agenda : CANalyzer／CANoe 測定・解析 トレーニングコース

(概 要)

CAN 通信解析用ツールとしてすでに10年以上の実績を持つ CANalyzer/CANoe の共通の機能である、測定や解析作業に的を絞ったトレーニングです。ツールを使用する上での基礎知識から、このツールの持つさまざまな機能について、実際にPCを操作しながら実習形式で学べるコースです。データロギングや、取得したデータの処理・解析など実習形式のトレーニングを通して、実務に役立つ知識が得られます。CANalyzer や CANoe を初めて使うかたには是非お奨めしたいコースです。

(講義予定)

1. CANalyzer/CANoe の基本操作

Windows ベースの CANalyzer 基本操作をはじめ、測定作業を行う際に必要なハードウェアの設定やバス・パラメータの設定について説明します。

2. 各測定 window の使い方

各測定 window についての機能や設定方法について説明します。トレーニングルーム内に設定された CAN バスに実際に接続し、受信しながら実習形式で行います。

3. データベースの作成

CANalyzer/CANoe にて測定作業を行う際に必要になる CAN データベースについて、実習形式で説明・作成を行います。

4. メッセージ送信

CANalyzer は受信だけのツールではありません。測定・解析のためには、そのきっかけとなる CAN メッセージやデータを送信する必要があります。これを簡単に実現してくれるインタラクティブ・ジェネレータブロックを使用して、オンラインでのデータ値変更や、サイン波形を生成する実習を行います。

5. メッセージの選別(フィルタリング)とロギング

ロギングブロックの各種設定の仕方について説明します。メッセージ選別のためのフィルター設定や、トリガーの設定方法、ロギング時間の設定、さらには保存ファイルの設定といった基本事項について、実際のバスに様々なデータを流しながら、演習形式で行います。

又、オフラインモードを使って、取得したデータを即座に展開したり、不要なデータを精製削除する方法や取得データをそのとおりに再現するリプレーブロックの使用方法についても使ってを取り入れながらしたり、ログを取って再現するという、実際の解析作業で必要な、メッセージのフィルタリングや測定データのロギング方法の実習を行います。

注) 講義内容は予告無く変更することがあります。